



歴史&文化

History & Culture



Photo: 石狩弁天社

道央圏最古の神社「石狩弁天社」。

鮭の豊漁を願って建てられた、

ぶらっと

歴史探訪



石狩



サメ様

石狩川の主「チョウザメ」を神格化した神様



SPOT 35

弁天歴史公園

「運上屋棟」には石狩観光協会スタッフが常駐。公園に隣接する、サメ様を祀る300年以上の歴史ある神社(石狩弁天社)も見学しよう。

住所 / 石狩市弁天町38
電話 / 石狩観光協会 0133-62-4611 開設期間 / 4/29~11/3
運上屋の開館時間 / 8時45分~17時15分



資料館で石狩の歴史・文化を学ぼう！

SPOT 36



いしかり砂丘の風資料館

石狩は缶詰工場発祥の地。缶詰作り体験や石狩川河口地域の自然や歴史を学べます。

住所 / 石狩市弁天町30-4
電話 / 0133-62-3711
開館時間 / 9時半~17時
休館日 / 火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始 入館料 / 有料



SPOT 37



旧白鳥家番屋(はまます郷土資料館)

浜益のニシン漁の歴史や漁具を展示し、当時の番屋の暮らしを見学できます。

住所 / 石狩市浜益77-1
電話 / 0133-79-2402
開館時間 / 5~10月:10~16時
休館日 / 火曜(祝日の場合は翌平日)、冬期間(11~4月)
入館料 / 有料

資料館職員のココがポイント!



石狩の歴史を物語る貴重な奉納物にもご注目!

石狩弁天社には日本遺産構成文化財に選ばれた笏谷石(しゃくだにいし)製の狛犬や、1856年(安政3)に描かれた大絵馬額等、貴重な品々が納められています。

石狩市本町地区へお越しの際は必見です!

石狩を見守り続ける灯台。

明治時代から、



観光協会職員のココがポイント!



石狩のシンボル 現存する道内最古の灯台。

1957年(昭和32)に映画「喜びも悲しみも幾年月」のロケ地となった際に白一色だった灯台は色彩効果を高めるために、赤白の縞模様様に塗り替えられました。青空や雪景色にも映える灯台の風景は石狩を象徴する風景の一つです。

SPOT 38

石狩灯台

はまなすの丘公園の入口に建つ高さ約13.5メートルの灯台。1892年(明治25)の開設から130年以上の歴史があり、現存する北海道最古の灯台です。光は24キロメートル先まで届き、今も石狩湾を航行する船の安全を守っています。

住所 / 石狩市浜町

夕景の灯台もステキ~*



灯台の魅力をもっと知りたい方へ /

check!



灯台の一般公開

年に数回、普段は入ることができない灯台内部の一般公開を行っています。

ライトアップイベント

毎年10月開催。ライトに照らされた灯台の、神秘的な姿は必見です!

石狩灯台の妖精「石狩灯台お兄さん」

石狩灯台の魅力を人々に伝えるため、灯台イベント時に降臨。出会えた時は「赤白つけようぜ」という合言葉を言ってみよう! 良いことが起こるかも...?



灯台イベントに降臨するよ!



灯台レンズの展示

ビジターセンターには、現在の石狩灯台で初点灯当時から使われていた、「旧石狩燈台燈器(6等閃光レンズ)」が展示されています。

お問合せ 石狩観光協会 電話 / 0133-62-4611

